

(様式1・小学校用①)

令和2年度 学校評価報告

草加市立長栄小学校

(令和3年2月2日作成)

1 学校教育目標	
○学校教育目標 (目指す児童像)	よく考える子・思いやりのある子・たくましい子
○目指す学校像	笑顔あふれる長栄小
○学校経営方針	児童一人ひとりを大切にし、豊かな心をはぐくみ、学びに向かう力、たくましく生きる力を伸ばす学校教育
2 重点目標・努力目標	3 前年度の成果と課題
(1) 「新田中学校区の目指す15歳の姿」の育成 (2) 「特別の教科 道徳」 (3) 安心安全を実感できる学校	<p>成果</p> <p>○「特別の教科 道徳」の研究委嘱を受け、「考え、議論する道徳」の授業づくりを通して、授業改善につなげることができた。</p> <p>○ペアスクールの新田中学校や地域の異校種との交流を更に深め、一貫教育を推進することができた。</p> <p>課題</p> <p>●学校運営協議会を設置し、それをもとに家庭・地域・学校と一体的に子どもの育ちを支えるための教育を行う。</p>

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営目標、方針 校務分掌組織 適所への適材配置 職員会議等の運営 予算の執行・決算、監査等 	B	<p>○学校教育目標達成に向けて、全教職員が協働し、組織的、計画的に教育活動を推進することができた。</p> <p>●教職員の特性を生かした適材適所の校務分掌と、組織の改善を更に進める。</p> <p>●職員会議等の運営において、スリム化を図り、教職員の負担軽減を図る。</p>
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> 研究組織、計画、実施 校内研修の推進 授業改善への取組 校外研修会への参加 人材育成 	A	<p>○昨年度の研修を継続し、「特別の教科 道徳」の指導法・評価の在り方について共通理解・共通指導ができた。</p> <p>●研修を軸として、教職員の資質および授業力向上のためのPDCAサイクルの更なる推進を図る。</p>
	③保健管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 保健計画、安全計画 環境衛生の管理 健康観察、安全点検 緊急事態発生時の対応 危機管理マニュアルの作成・活用 	A	<p>○今年度、新型コロナウイルス感染防止に向け、教職員全体で対策の推進と徹底を図ることができた。また、安全・安心に生活できるよう、保健管理及び安全管理を行うことができた。</p> <p>●災害や交通安全に関し、児童が自分で考え、身を守るための行動ができるように安全計画の見直しを図る。</p>
	④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の管理、保護 施設設備の管理と有効利用 	B	<p>○個人情報の適切な管理及び保護に努めることができた。また施設設備の定期点検とともに、随時安全確認による管理を行い、施設の安全管理の徹底を図れた。</p> <p>●施設の整備のさらなる充実と個人情報の管理体制を構築する。</p>
	⑤地域との連携 開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> 学校情報の発信 学校公開の実施 学校運営協議会の推進 地域、校種間連携 PTA活動の活性化 	B	<p>○感染防止のため、多くを公開することはできなかったが、学校運営協議会やスポーツフェスティバル、授業参観等で公開することができた。</p> <p>●教育活動に地域の人材を生かせるように地域、PTAとの連携を充実させていく。</p>
	⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> 目指す子ども像の共有 15年間を通じたカリキュラムの編成 一貫教育推進のための組織づくり 	B	<p>○中学校区3校3園で管理職や研修主任で協議し、コロナ禍で実施可能な交流を行う連携ができた。また幼保小・小中連絡協議会も開催し、連携を図ることができた。</p> <p>●次年度からの15年間を通じたカリキュラムに関する研修に向け、中学校区3校3園と連携を高め、一貫教育の充実を図る。</p>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	A	<ul style="list-style-type: none"> 休業期間の授業時数について、朝の時間を活用し、時数確保を適切に行うことができた。 ●次年度の研修に合わせ、15年間を通じたカリキュラムの編成の工夫と推進を進める。
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的で深い学びの実現に向け、研修会を実施し、教職員に共通理解を図ることができた。 ●主体的・対話的で深い学び実現に向け共通理解を図ったことの推進を進める。
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度の研究発表で培った指導法や授業展開の工夫を新しい教職員にも共通理解を図り、授業の充実を図ることができた。 ●家庭や地域社会と連携を図り、教育活動全体を通しての道徳的実践力のさらなる育成を進める。
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学級担任がALT、子ども教育連携教員・中学校教員と連携して指導し、英語に親しみ、楽しく活動することができた。 ●低学年の児童に英語に親しむ環境と学級担任を中心にした授業展開の充実を図る。
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学級活動、学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として健全な生活態度を育んだ。 ●児童が主体的に考え、話し合う学級活動や児童会活動の充実。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○感染防止対策で体験活動が縮小される中、人や自然、地域とのふれあえる活動に取り組み、充実させることができた。 ●地域とのつながりを生かした課題設定の見直しを図る。
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○組織として共通理解のもと、児童一人ひとりを大切に生徒指導を行った。また、他機関と連携した教育相談の充実を図ることができた。 ●保護者、地域、児童相談所等の機関と連携を密に行い、児童へのよりよい対応を図る。
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○各学年の発達段階に応じて、教科や領域と絡めながら、人や自然、地域との関わり等をもつことができた。 ●キャリアパスポートを生かし、計画的な指導を図る。
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりの児童の特性に応じたきめ細やかな指導の推進と全教員の共通理解を図る研修会の充実が図れた。 ●関係諸機関及び家庭との一層の連携及び職員の共通理解の深化を図る。
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○司書教諭を中心に学校司書及び草加市中央図書館サービスの有効な活用と充実を図った。 ●読書好きな児童を育成する取組を推進する。
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○授業等でのICT機器の積極的・有効的な活用方法について情報教育主任中心に教職員に周知を図ることができた。 ●ギガスクールに向けたICTの有効活用について研修を進め、教職員の活用能力の推進を図る。
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科と関連に基づき、人権感覚育成プログラムを取り入れ、活用し、育成を進めることができた。 ●人権感覚育成プログラムの活用についての周知、徹底を図り、各教科との関連について推進を図る。

草加市立長栄小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	「新田中学校区」の目指す15歳の姿の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートカリキュラムを核とした低学年教育の充実 ・目指す15歳の姿に向けた幼保小中の交流・連携の実施 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校区3校3園合同で共通理解し、家庭学習強化週間、ノーメディアデーを設定し、で取り組むことができた。また、幼保とも連携し、作品交流も取り組むことができた。 ●連携の継続とさらなる改善を図る。
	「特別の教科 道徳」	<ul style="list-style-type: none"> ・「長栄小の道徳」を活用した授業の充実 ・「長栄小見える道徳」を継続し、資質能力の育成 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○「長栄小の道徳」を新しい教職員周知徹底し、授業の充実を図ることができた ●引き続き「長栄小の道徳」を継続するとともに教職員の資質能力の向上を図る。
	安心安全を実感できる学校	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども自身が考えて動ける安全教育の充実 ・積極的生徒指導と教育相談体制の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○休み時間の避難訓練を実施し、自分の身を自分で守るための行動について考えさせることができた。 ●災害や交通安全に関し、児童が自分で考え、身を守るための行動ができるように安全計画の見直しを図る。

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- 全職員が学校経営方針を、共通理解、共通実践し、学年・学級経営にあたることができた。児童一人ひとりを大切に、豊かな心をはぐくみ、学びに向かう力を培うために、工夫について研修等で学び合うことができた。
- 新田中学校区内の幼保小中が感染防止を踏まえた交流活動の実施や連携を図り、一貫教育を推進することができた。
- 昨年度の研究発表を生かし、「考え、議論する道徳」の授業づくりについて、新年度共通理解を図り、継続することができた。継続しながらも、評価の改善や児童道徳に関する実態調査等について研修を進め、「考え、議論する道徳」の向上を図った。
- 昨年度に引き続き、教育環境、感染防止対策も含め、整備し、安全・安心な環境の中で児童が落ち着いて学習に取り組めるようにできた。

6 次年度の改善策

- 一貫した教育の推進のため、学校運営協議会を中心に幼保小中連絡協議会、安心安全委員会による幼保・小・中・保護者・地域との連携を一層深め、教育活動の充実を図っていききたい。
- ギガスクールに向けたICTの有効活用についての研修計画を作成し、教職員の活用能力の推進を図る。
- 災害や交通安全に関し、児童が自分で考え、身を守るための行動ができるように安全計画の見直しを進め、安全教育の充実を図る